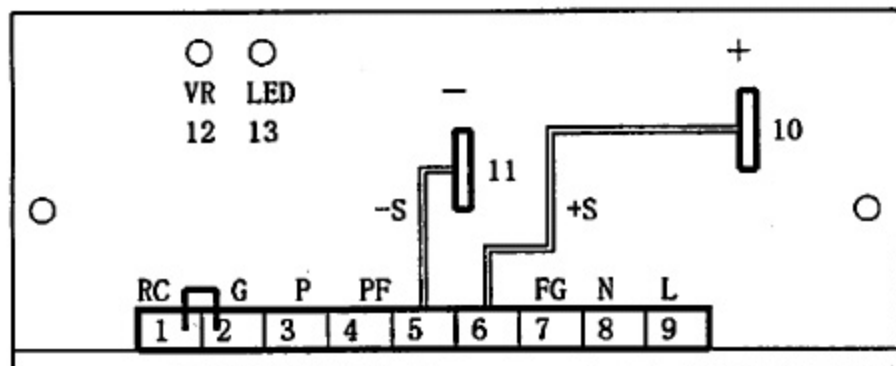


用途 (警告信号)

入力電圧がOFFになった時、信号として発生するもので、この信号を基に警告回路等を追加し、作業管理者への警告を促すために利用されます。

FHPまたはWRGシリーズを数台ご使用する場合ですが、パワー・フェイル信号回路は独立していますので、並列でのご使用はできません。

★WRGの概要パネル外観 (FHP, FHG は同じです)



- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. リモート・コントロール端子+ | 8. AC入力端子 |
| 2. リモート・コントロール端子- | 9. AC入力端子 |
| 3. パラレル端子 | 10. +出力端子 |
| 4. PF端子 | 11. -出力端子 |
| 5. -センシング端子 | 12. 出力電圧設定ボリュウム |
| 6. +センシング端子 | 13. 運転表示LED |
| 7. フレーム・グラウンド端子 | |

パワー・フェイル信号は、下記の内容でPF端子4と-S端子5間に発生しています。

- 電源に入力電圧を印加し、出力電圧が立ち上がる「10～500 [mS]」以後、PF端子と-S端子間に、H (+5V) 信号電圧が発生します。
外部回路に流出する電流は、約0.4 [mA] 以下です。
- 電源の入力電圧が遮断され、出力電圧が立ち下がる2 [mS] 以前で、PF端子と-S端子間のパワー・フェイル信号は、L (0V) の状態になります。
外部回路から流入する電流は、約4 [mA] 以下ですので、ご注意ください。
- 下記に動作状態の図を示します。

